

級	3級	名前	学年	教室名	会員番号
		解答	中1		

2023年実施

131413

① ーの漢字に読みがなをつけなさい。

- (1) 体育館の床にマットを敷く。  
(ゆか)
- (2) 次の走者にバトンを渡す。  
(わた)
- (3) キャプテンに信頼を寄せる。  
(しんらい)
- (4) 予算を削減する。  
(たくげん)
- (5) 意見の相違は明らかだ。  
(そうい)
- (6) 難しいクイズに挑戦する。  
(ちようせん)

③ ーの言葉の特別な読み方を書きなさい。

- (13) 川原でキャッチボールをした。  
(かわら)
- (14) 山頂から美しい景色を眺める。  
(けしき)

② 次の□に漢字を書きなさい。

- (7) 畑が霜で真っ白だ。  
×日 ×木  
霜
- (8) 発表会の準備で忙しい。  
いそがしい  
忙
- (9) ピアノの伴奏で歌う。  
×羊  
ばんそう  
伴奏
- (10) 森の風景を描写する。  
×由  
びようしゃ  
描写
- (11) どの作品も立派で優劣がつかない。  
ゆうれつ  
優劣
- (12) 工場の音が騒がしい。  
さわ  
騒  
×文 ×又

(15) 荷物を運ぶのを手伝う。

- (15) 荷物を運ぶのを手伝う。  
(てつだう)
- (16) 棚の上に眼鏡を置く。  
(めがね)

4 次の意味を表す四字熟語になるように、□に当てはまる漢字を、あとの□から選んで書きなさい。

(17) 一つのことをして、二つの利益を得ること。

↓ 一石二鳥

(18) 自分に都合よくすること。

↓ 我田引水

(19) 多くの人が口をそろえて言うこと。

↓ 異口同音

(20) すぐれた人物は、若い頃は目立たず、時間をかけて立派になるということ。

↓ 大器晩成

晩 異 夜 石 玉 水 利

5 ーの言葉を国語辞典で引くとき、どんな見出し語で引けばよいですか。全てひらがなで書きなさい。

(21) ページをめくって、文章を読み進める。

(めくる)

(22) 月日は目まぐるしく過ぎていった。

(めまぐるしい)

(23) 豊かな知識をもった人物。

(ゆたか)

6 ーの言葉の意味を調べるために国語辞典でのところを引くと、次のような意味が出ていました。文の意味に合うもの一つずつを選び、記号を○で囲みなさい。

(24) 前手を翻して、反対派に回る。

ひるがえす【翻す】

ア さつと裏返す。

イ 考えや態度を急に変える。

ウ ひらひらとなびかせる。

(25) 話が脳にそれてしまった。

わき【脇】

ア 胸の横側で、腕の付け根の下。

イ ものの横。そば。

ウ 他のところ。よそ。

7 次のーの自立語に当てはまるものを、あとの□から選び、記号で答えなさい。

(26) 昨日に比べると、今日はかなり冷える。

イ

(27) 兄を見かけて声をかけた。しかし、兄はいつこうに気づかなかった。

ウ

(28) 地球の平和を保つには、地球上のあらゆる国が手を取り合う必要がある。

ア

(29) ねえ、もうそろそろ帰ろうよ。

エ

ア 連体修飾語になっている(連体詞)

イ 連用修飾語になっている(副詞)

ウ 接続語になっている(接続詞)

エ 独立語になっている(感動詞)

表にも問題があります！

級	前
名	

8 次の文の主語と述語を、それぞれ一文節で書き抜きなさい。  
(各2答)

30 犬は、鋭い嗅覚をもった動物だ。

主語 (犬は) 述語 (動物だ)

31 庭で、母が草むしりをする。

主語 (母が) 述語 (する)

9 次の—の文節は、文のどんな成分になっていますか。あとの□から選び、□に記号で答えなさい。

32 全員そろったようだ。さあ、出かけよう。

オ

33 公園のベンチでゆつくり休む。

ウ

34 寒いので、ストープをつけた。

エ

ア 主語      イ 述語      ウ 修飾語  
エ 接続語      オ 独立語

10 次の二字熟語は、それぞれどんな構成になっていますか。あとの□から選び、□に記号で答えなさい。

35 売買

イ

36 鉄橋

ウ

37 寒冷

ア

38 開場

エ

ア 意味が似ている漢字の組み合わせ  
イ 意味が対(反対)になる漢字の組み合わせ  
ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する  
エ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す  
オ 上下が主語と述語の関係

③-3

11 次の—の単語は、活用する自立語です。品詞名をあとの□から選び、□に記号で答えなさい。

39 山から、爽やかな風が吹いてくる。

エ

40 朝から寒かったので、セーターを着た。

イ

ア 動詞      イ 形容詞  
ウ 副詞      エ 形容動詞

12 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

「今日の日曜日、お宅にうかがつてもよろしいでしょうか」  
 人を訪問したい時、相手の都合を聞くのによくこの言い方をします。□  
 「この件についてちよつとおうかがいしたいのですが、教えていただけますか」  
 という場合、「うかがう」は「尋(問)ねる」の意味になります。ひとつ動詞が別の意味で使い分けられる例は「うかがう」に限りませんが、右の二つの例は、へりくだる言葉という点では共通です。もう一例あげます。  
 「私はそういうふうにはうかがっておりません」  
 「うかがう」は「聞く」の意味になっています。  
 何でも平等という人が多くなって、日常、身のまわりから次第にかけがえがなくなつてきているものの一つに、へりくだる言葉、謙譲の言葉があります。相手よりも自分のほうを低目に扱う姿勢をあらわしますが、これを一概に媚びとか屈従、被支配に結びつけるのはどうかと思います。  
 ① そうではなく、身のほどに、無意識の客観の目をはたらかせる習慣とみますと、こういうつつしみのある言葉がかえりみられなくなる状況は、人を氣遣うとか自分を省みることが、とかく口先だけの、さびしい

状況に思われてなりません。  
 ② 学歴、職種を問わず、人生の辛苦に長年月耐えて家族の暮しを支えてきた人に対する年若い者の物言いは、同年の若への物言いと異なるのが自然ではないでしょうか。  
 謙譲を支えるのは、たとえばこのような、内から自然に湧き出してくる「敬い」の気持のはずだと思つていますが、自信過剰であつたり、自分本位に生きて、他を思うゆとりもない場合、根に敬いの気持をもつ謙譲の言葉遣いは、わずらわしいだけのものになるのかもしれない。  
 ③ 過度の謙譲は真意を失いかねませんし、根に敬いのない謙譲では心も通わないでしょう。そうかといって、言葉は意味が通じさえすればいいというのも、言葉で生きる人間に対する認識としてどうかと思います。  
 ④ 日常の言葉についての考えは、そのまま、人それぞれの生き方についての考えをあらわしているのだと気づいてから、私には言葉をめぐるたのしきも増えたかわり、不安も、恐しさも増えました。  
 (竹西野矢 (流苑新聞社「国語の時間」より))  
 ※表記は、原典のままです。

(41) □に当てはまる言葉として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
 ア ところが イ だから  
 ウ なぜなら エ すると

ア

(42) 筆者が「うかがう」を例に挙げたのは、この文章で何を話題にするためですか。次の□に当てはまる字数の言葉を、文章中から書き抜きなさい。

謙譲の言葉を話題にするため。

(43) ①「そうではなく」とありますが、「そう」はどのようなことを指していますか。次から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。  
 ア へりくだる言葉が、日常生活のなかで次第にかけがえがなくなつてきていること。  
 イ へりくだる言葉によつて、相手よりも自分のほうを低目に扱う姿勢をあらわすこと。  
 ウ へりくだる言葉を、媚びとか屈従、被支配に結びつけること。

ウ

(44) ②「人生の辛苦に……年若い者の物言ひ」は、どんな言葉遣いとなるはずだといふのですか。次の□に当てはまる字数の言葉を、②よりあとの段落から書き抜きなさい。

根に敬いの気持をもつ謙譲の言葉遣い。

(45) ③「日常の言葉についての考え」とありますが、筆者の考えに合わないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
 ア 言葉というものは、相手はどう思うかということなどには関係なく、ただ意味が通じさえすればよいのである。  
 イ つつしみのある、へりくだる言葉遣いを大切に思わない状況は、人への氣遣いの言葉などが口先だけのものとなつてしまつていようて、残念だ。  
 ウ 自分本位で、他を思うゆとりのない生き方をしていると、へりくだる言葉はわずらわしいものなのかもしれない。

ア

表にも問題があります！